

## 参議院常任委員会調査室・特別調査室

論題	参議院事務局・日本工学アカデミー（E A J）共催シンポジウム 開催概要
著者 / 所属	令和6年度『立法と調査』企画運営部
雑誌名 / ISSN	立法と調査 / 0915-1338
編集・発行	参議院事務局企画調整室
通号	466号
刊行日	2024-4-26
頁	91
URL	<a href="https://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/chousa/ripou_chousa/backnumber/20240426.html">https://www.sangiin.go.jp/japanese/annai/chousa/ripou_chousa/backnumber/20240426.html</a>

※ 本文中の意見にわたる部分は、執筆者個人の見解です。

※ 本稿を転載する場合には、事前に参議院事務局企画調整室までご連絡ください（TEL 03-3581-3111（内線 75020）／ 03-5521-7686（直通））。

参議院事務局・日本工学アカデミー（E A J）  
共催シンポジウム 開催概要

令和6年2月14日（水）

令和6年度『立法と調査』企画運営部・記

令和6年2月14日（水）、参議院事務局・日本工学アカデミー（E A J）共催シンポジウム（以下「シンポジウム」という。）が開催された。

シンポジウムでは、冒頭、参議院事務局を代表して金澤真志企画調整室長、E A Jを代表して永野博政策共創推進委員会委員長（E A J顧問）から、それぞれ挨拶が行われた。次に、牧原出先生（東京大学）・熊谷晋一郎先生（同）・並木重宏先生（同）・綾屋紗月先生（同）から、「インクルーシブなS T E M研究環境の構築」と題する講演が行われ、また、竹内健太調査員（文教科学委員会調査室）から、「よりインクルーシブな教育・研究環境に向けて～特別支援教育における現状と課題～」について報告が行われた。その後、質疑・討論を経て、閉会した。

「インクルーシブなS T E M研究環境の構築」においては、E A Jの「インクルーシブなS T E M研究環境の構築プロジェクト」（リーダー：牧原出先生）が令和4年11月に取りまとめた同題名の報告書の内容に基づいて講演が行われた\*。

「よりインクルーシブな教育・研究環境に向けて～特別支援教育における現状と課題～」においては、入学（学びの場の決定）段階、在学（学びの場における）段階のそれぞれについて、特別支援教育の現状と課題が報告された。

---

\* 報告書の全文は以下のURL参照（<https://www.eaj.or.jp/eajlocal/wp-content/uploads/2023/01/eaj-report-proj-20221117.pdf>）